

フルカラー教則

レベルUPコース

動きを何度も確認できる

DVD
& CD付
日々の練習に役立つ

DVD&CDでよくわかる!

はじめての ブルース・ギター

Guitar
magazine ギター・マガジン

この一冊で
ブルース・ギターが
弾ける!

Blues Guitar Score

ジョン・メイオール&
ザ・ブルース・ブレイカーズ・
ウィズ・エリック・クラプトン

ハイダウェイ

クリーム
クロスロード

マジック・サム
スウィート・ホーム・シカゴ

デレク・アンド・ザ・ドミノス
愛の経験



Rittor Music Mook

<http://www.rittor-music.co.jp/>

DVD&CDでよくわかる!

はじめての ブルース・ギター



CONTENTS

もくじ

ページ

DVD / CDの使い方	4
DVD / CD収録内容	5

Part.1 プレイを始める前に

1 ブルースの歴史	6
2 ブルースのスタイルいろいろ	8
3 ブルースで使われるギター	10
4 ブルースで使われる機材	12
5 サウンドメイク	13

Part.2 ブルース・ギターを弾こう♪

1 ブルース・ギターを聴いてみよう	14
2 ブルースで使う7thコード	15
3 ブルースのコード進行	16
4 ブルースのリズム	18
5 ブルース・バックギングのいろいろ	19

Part.3 ブルースを彩るテクニック

1 さまざまなチョーキング	22
2 ビブラート	26
3 ハンマリング・オン&プリング・オフ	28
4 その他のマスト・テクニック	30

Part.4

ペントニックでソロ・プレイ!

- 1 ブルースのソロ 32
- 2 マイナー・ペントニック・スケールとは? 33
- 3 マイナー・ペンタを覚える練習フレーズ 34
- 4 チョーキングを加える! 36
- 5 総合ソロに挑戦! 39

Part.5

マイナー・ペンタを広げよう

- 1 マイナー・ペンタ+ α 40
- 2 プラス α の音を使った実践フレーズ 43
- 3 マイナー・ペンタの拡張ポジション 44
- 4 5弦ルート・ポジションに挑戦! 46

Part.6

王道ブルース・フレーズ集

- 1 イントロ&導入フレーズ 48
- 2 アウトロ&エンディング・フレーズ 49
- 3 ワンフレーズ・アイディア 50
- 4 サイド・ギターのバリエーション 51

Part.7

曲調のバリエーション

- 1 8ビートのブルース 52
- 2 16ビートのブルース 54
- 3 4ビートのジャズ・ブルース 56
- 4 マイナー・ブルース 58

Part.8

ブルース・セッションに挑戦!

- 1 ジャム・セッションのいろは 60
- 2 ソロを弾くためのトレーニング 64
- 3 Cブルースのセッションに挑戦! 66
- 4 Eブルースのセッションに挑戦! 68
- 5 セッション練習バックング集 70

Part.9

ブルース・ギター上級ノウハウ

- 1 スコアの読み方 72
- 2 マイナー・ペンタ・ポジション早見表 74
- 3 その他のブルース進行 76
- 4 お薦めブルース名盤 78

巻末付録 ギター・スコア 81

- 「ハイダウェイ」 82
ジョン・メイオール&ザ・ブルース・ブレイカーズ・
ウィズ・エリック・クラプトン
- 「クロスロード」 87
クリーム
- 「スウィート・ホーム・シカゴ」 93
マジック・サム
- 「愛の経験」 99
デレク・アンド・ザ・ドミノス

ギタースコアの楽曲は、付属 DVD & CD に模範演奏など収録しておりません。ご了承ください。

ギター・コード早見表 110

DVD / CD の使い方

ブルース・ギターの各種レッスンは、
付属 DVD / CD に収録されている映像 / 音源でも確認しておこう！

本書には、各項目でレクチャーしているテクニックやフレーズを収録したDVD & CDが付属しています。
写真や図版とともに付属DVD&CDをチェックすることで、
ギター・プレイの方法をより直感的に理解することができます。

●DVD / CDに収録されているレッスンについて

これらのマークのついているレッスンは、DVD / CD でプレイ映像 / 音源をチェックすることができます。
収録の詳細内容は、右のページで確認しましょう。

The image shows a page from a book with a lesson titled "key=Aのブルース進行を弾いてみよう". It features a guitar diagram and a timeline. To the right, there are two circular icons: "DVD 02" and "CD TRACK 02". A vertical label "Part.2" is on the left, and "DVD 02" and "CD TRACK 02" are also written vertically. Below the icons, the text "チャプター・ナンバー" (Chapter Number) and "トラック・ナンバー" (Track Number) is shown with lines pointing to the "02" in both icons.

●DVDの再生方法

メイン・メニュー画面で目的のレッスンが収録されているカテゴリーを選んだら、続いて観たいチャプターを選択しましょう。**ALL PLAY** でDVDをスタートさせれば、チャプター01からラストまで順に観ることができます。また**MAIN MENU** でメイン・メニュー画面に、**PREVIOUS** でひとつ前のチャプター選択画面に、**NEXT** で次のチャプター選択画面に移動することができます。

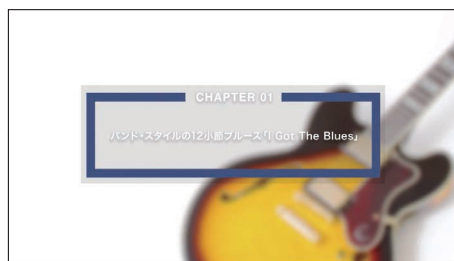
メイン・メニュー画面



チャプター選択画面



レッスン画面



●本書付属DVDをご使用になる前に

- DVDビデオは、映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応のプレーヤーでお楽しみください。
 - パソコン搭載のDVDドライブ、ゲーム機などでの再生は保証できません。
 - 詳しい再生上の取り扱いについては、ご使用になるプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- [鑑賞上のご注意]
- ご鑑賞の際は、部屋を明るくし、テレビ画面に近づき過ぎないようにしましょう。
 - 長時間続けての鑑賞は避け、適度に休憩を取ってください。体調が悪い場合は、より注意が必要です。
- [取り扱い上のご注意]
- ディスクは両面とも、指紋、汚れ、キズなどをつけないようにお取り扱いください。
 - ディスクは両面とも、鉛筆、ボールペン、油性ペンなどで文字や絵を書いたり、シールなどを貼付しないでください。
 - ディスクの光沢面が汚れた場合には、メガネ拭きのような柔らかい布で、内周から外周

- に向かって軽く拭き取ってください。レコード・クリーナーや溶剤などは使用しないでください。
- ひび割れや変形、接着剤などで補修したディスクは危険ですから、絶対に使用しないでください。また、静電気防止剤やスプレーなどの使用は、ひび割れなどの原因になる場合があります。
- [保管上のご注意]
- 使用後は必ずプレーヤーから取り出して、もとのホルダーに収めて保管してください。
 - ディスクは直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないでください。
- [その他のご注意]
- テレビによっては、画面の上下左右が若干切れる場合がございます。
 - 画像データを本製品から分離、改変、複製することはできません。
 - このDVDは、一般家庭内における私的再生に用途を限って販売しています。著作権者の許可を得ず、貸与・複製・公衆送信・上映などを行なうことを固く禁止いたします。

©2015 Rittor Music, Inc.

DVD / CD 収録内容

内容	DVD チャプター ナンバー	CD トラック ナンバー
バンド・スタイルの12小節ブルース「I Got The Blues」	1	1
key=Aのブルース進行を弾いてみよう	2	2
3連／シャッフルの練習	3	3
セーハ・コードのストローク・バック	4	4
パワー・コードのバック	5	5
パワー・コード+α(小指)のバック	6	6
さまざまなチョーキング	7	
全音チョーキングの練習フレーズ		7
半音チョーキングの練習フレーズ		8
クォーター・チョーキングの練習フレーズ		9
チョーク・アップ&チョーク・ダウンの練習フレーズ		10
ユニゾン・チョーキングの練習フレーズ		11
ハーモナイズド・チョーキングの練習フレーズ		12
ダブル・チョーキングの練習フレーズ		13
ビブラート	8	
音程とスピードのトレーニング		14
ビブラートで表情をつけるトレーニング		15
チョーキング・ビブラートのトレーニング		16
ハンマリング・オン&プリング・オフ	9	
4種類のハンマリング・フレーズ		17
4種類のプリング・フレーズ		18
ハンマリングとプリングの連続フレーズ		19
スライド&グリッサンド	10	
スライド&グリッサンドの練習フレーズ		20
チョップ奏法	11	
チョップ奏法の練習フレーズ		21
オクターブ奏法	12	
オクターブ奏法の練習フレーズ		22
マイナー・ペンタトニック・スケールとは?	13	
Aマイナー・ペンタを弾こう		23
マイナー・ペンタを覚える練習フレーズ	14	
①シャッフルのリズムで弾いてみよう		24
②3連で弾いてみよう		25
③音符の長さを変えてみよう		26
④音の順番を変えてみよう		27
⑤音の長さや順番を変えてみよう		28
⑥ペンタを弾きこなすための練習譜例		29
チョーキングを加える!	15	
3弦薬指のチョーキング・フレーズ		30
2弦薬指のチョーキング・フレーズ		31
1弦薬指のチョーキング・フレーズ		32
3弦人差指のチョーキング・フレーズ		33
6弦小指のチョーキング・フレーズ		34
総合ソロに挑戦!	16	35
マイナー・ペンタ+α	17	
ちょっと陽気なブルース・フィール		36
軽快に聴かせるカントリー・フィール		37
オシャレに聴かせるジャジィ・フィール		38

内容	DVD チャプター ナンバー	CD トラック ナンバー
ブルーノートでブラック・フィール		39
低音が響くダーク・フィール		40
プラスαの音を使った実践フレーズ	18	41
マイナー・ペンタの拡張ポジション	19	
さらに広がる高音ポジション・フレーズ		42
よりディープに響く低音ポジション・フレーズ		43
5弦ルートの実践フレーズ集	20	
ハイ・ポジションでのたたみ込みリック		44
感情あふれるクォーター・チョーキング		45
ポジション移動でワンパターンから脱却		46
イントロ&導入フレーズ	21	
①スライド・スタイル(Ex-1, Ex-2)		47
②チョーキング・スタイル(Ex-1, Ex-2)		48
③コード・スタイル(Ex-1, Ex-2)		49
アウトロ&エンディング・フレーズ	22	
①ベースライン・スタイル		50
②ダブルストップ・スタイル		51
③ルート音固定スタイル		52
ワンフレーズ・アイディア	23	
①スライドを交えた複音フレーズ		53
②ハーモナイズド・チョーキングの応用		54
③プリングを使ったスピーディなフレーズ		55
④3フレット下のメジャー・ペンタを使う		56
サイド・ギターのバリエーション	24	57
8ビートのブルース	25	
バック		58
ソロ		59
16ビートのブルース	26	
バック		60
ソロ		61
4ビートのジャズ・ブルース	27	
バック		62
ソロ		63
マイナー・ブルース	28	
バック		64
ソロ		65
4小節ごとのAブルース	29	
1~4小節目		66
5~8小節目		67
9~12小節目		68
Cブルースのセッションに挑戦!	30	
key=Cのスロー・ブルース		69
Eブルースのセッションに挑戦!	31	
key=Eのシャッフル・ブルース		70
key=Gのスロー・ブルース		71
key=B ^b のシャッフル・ブルース		72
key=Fの8ビート・ブルース		73
key=Dmの16ビート・ブルース		74

プレイを始める前に

皆さんはブルースというスタイルに、どのようなイメージを持っていますか？ブルースはロックやジャズのルーツであり、ギター奏法にも深く関連しています。まずはブルースについてのさまざまな要点を見ていきましょう。

1 ブルースの歴史

本篇の初めは、ブルースの成り立ちを見ていきたいと思います。ブルースの誕生から影響を受けたギタリストまでその変遷をたどり、これから学んでいくギター演奏に役立ててください！

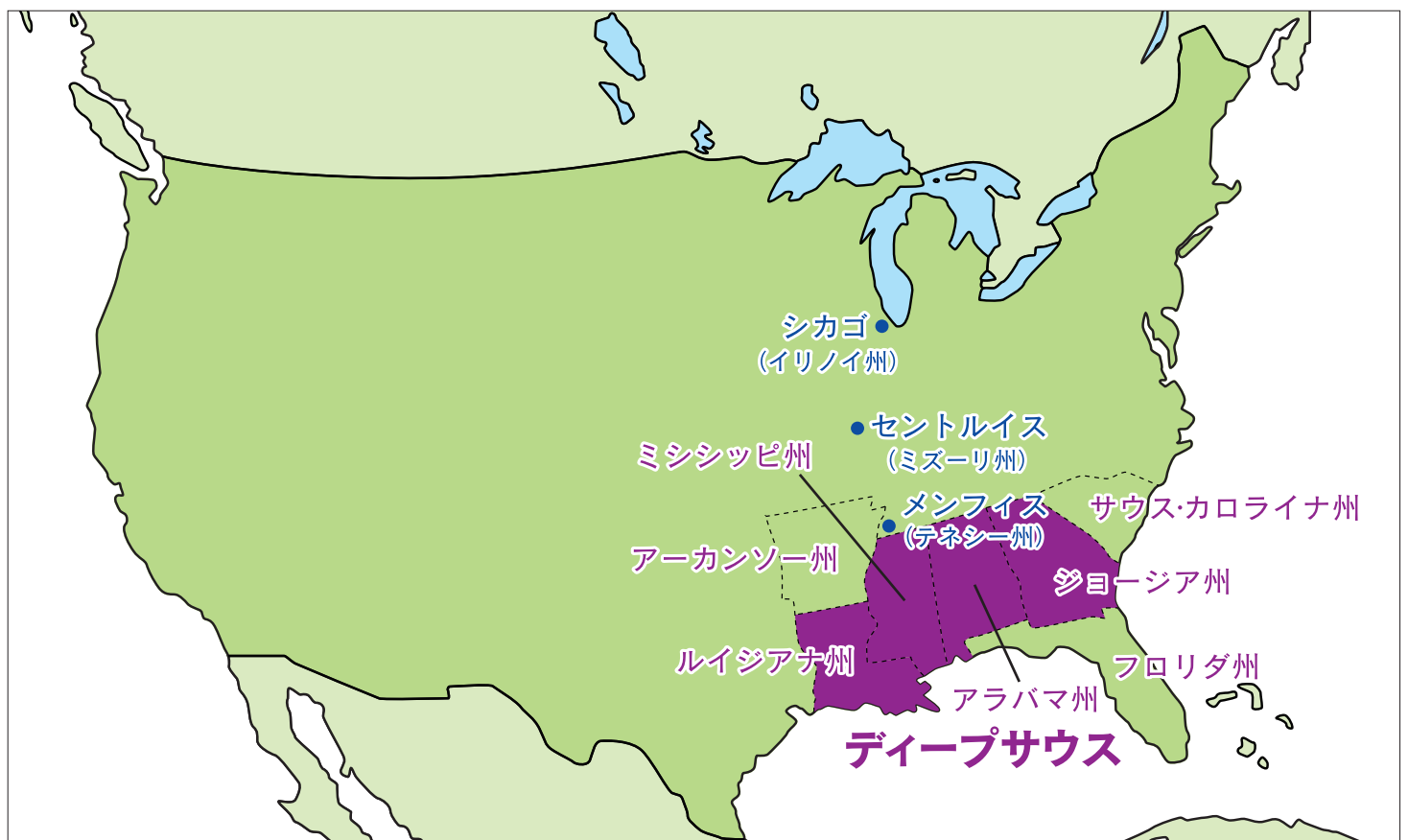
ブルースの誕生

ブルースは19世紀の後半、アメリカ・ディープサウス(ルイジアナ州やミシSSIPPI州などを中心としたエリア/下地図)の黒人たちによる労働歌やゴスペル(教会音楽)から発生したと言われています。

彼らは“エンヤ〜コ〜ラ”的なリズムカルなかけ声を口ずさみながら、農作業などの過酷な労働に耐えました。また経済的にも厳しい状況の中、教会で仲間たちと歌うことは唯一の楽しみでした。

やがて1860年代の奴隷解放によって、彼らにもわずかながら自由な時間ができるようになると、彼らの歌は民謡や神についてのものから、より身近な“自分”について歌うことが増えてきました。ギターなどで伴奏をつけるようになり、次第にブルースの形式が作られていったのです。

歴史上では1903年、W.C. ハンディという人物が「セントルイス・ブルース」という曲を楽譜に書いたことが、ブルースの生誕とされています。



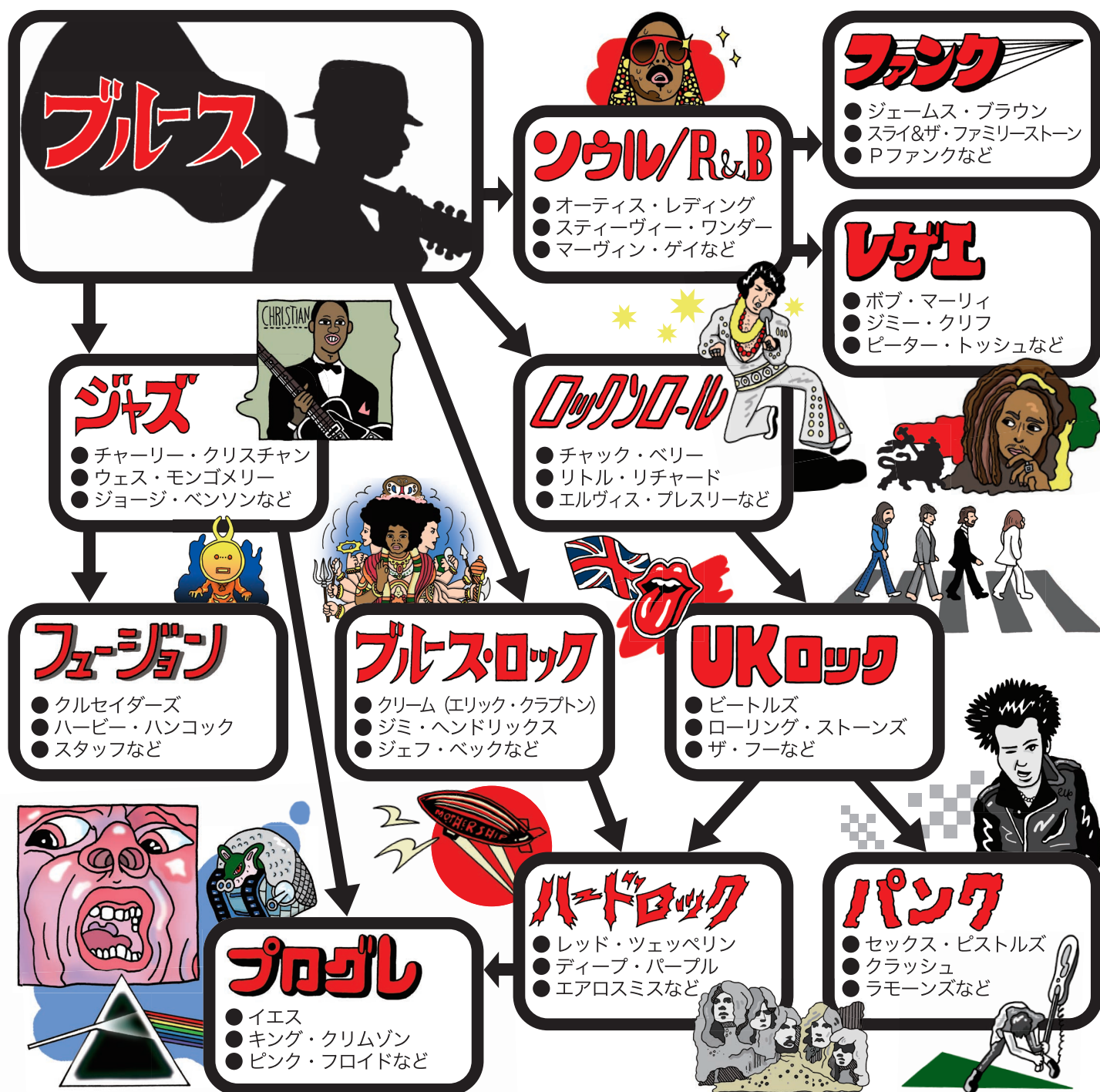
ブルースの進化

その後、黒人たちは新しい仕事を求め、ディープサウスからメンフィス、セントルイス、シカゴなどの都市へ北上し、それとともにブルースもさまざまなスタイルへと発展しました。

もともとはギターを弾き語りだった形式もデュオやバンドへと進化し、1950年代にはエレクトリック・バンドによるブルースが登場します。その流れの中で登場したチャック・ベリーは、ロックンロールの元祖と呼ばれています。彼はエルヴィス・プレスリーなどに影響を与え、白人たちにもブルースが浸透していきました。

さらに1960年代に入るとイギリスでも多くのブルースのレコードが輸入され、ローリング・ストーンズを始めとする、ブルースをルーツに持ったロック・バンドが人気を博すようになったのです。

下の系図は、ブルースから派生した音楽のジャンルです。そうそうたる大物アーティストたちもブルースに多大な影響を受けていることがわかれると思います。もちろんこれらの先にあるヘヴィメタル、AOR、ラップ、アシッド・ジャズ、ハード・コアなど……ほとんどのジャンルも、もとをたどればブルースに行き着くのです。



ブルース・ギターを弾こう♪

ここからはいよいよ、ブルース奏法の実践に挑戦です。
まずはコード進行やバックの基本をマスターしていきましょう。
肩の力を抜いてレッツ・ブルース・タイム!

1 ブルース・ギターを聴いてみよう

“ブルース”と言っても、もちろんいろいろなスタイルがあります。
まずは最も王道的なパターンのスローなブルースを聴いて、その雰囲気を感じてみましょう。

バンド・スタイルの12小節ブルース「I Got The Blues」



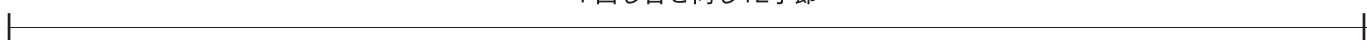
歌 (1回し目)

①小節目	②	③	④
I Got The Blues	I Got The Blues,	Tonight	
⑤	⑥	⑦	⑧
I Got The Blues	I Got The Blues,	Tonight	
⑨	⑩	⑪	⑫
I Wanna Play The Guitar	Because I Got The Blues,	Tonight	



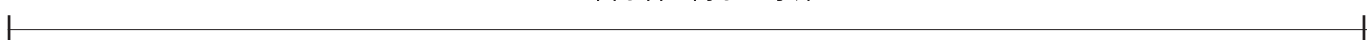
ギター・ソロ (2回し目)

← 1回し目と同じ12小節 →



歌 (3回し目)

← 1回し目と同じ12小節 →



(エンディング)

まずは付属DVD&CDで、本書オリジナルのブルース・ナンバー「I Got The Blues」を聴いてみてください。演奏は＜ボカ、ギター×2、ベース、ドラム＞というシンプルな編成です。ブルースではこのほかにも、ピアノやハーモニカ(ブルースではハーブと呼ぶ)、ブラスセクションなどの楽器が入ることもあります。

曲の構成には、基本的に“12小節でひと回し”という特徴があります。ブルースでは、このような12小節の同じコード進行をひたすらくり返して曲を進行させ

ていきます(エンディングのみ少し変わる)。

付属DVD&CDでは、＜歌1(12小節)→ギター・ソロ(12小節)→歌2(12小節)＞と合計3回で終わっていますが、実際はこの12小節を何回くり返してもかまいません。ギター・ソロを長くしたり、間にピアノ・ソロを入れたり、その時のノリで曲の長さを自由に変えられるのもブルースの醍醐味です。

また歌詞は1行目と2行目が大むね同じで、3行目でシメるような流れがよくあるパターンです。

2 ブルースで使う7thコード

ブルースらしいプレイをする第一歩として、
4種類の音を使った7thコードを勉強していきましょう。
いつものコードに1音足すだけでも、グッとブルースらしくなります！

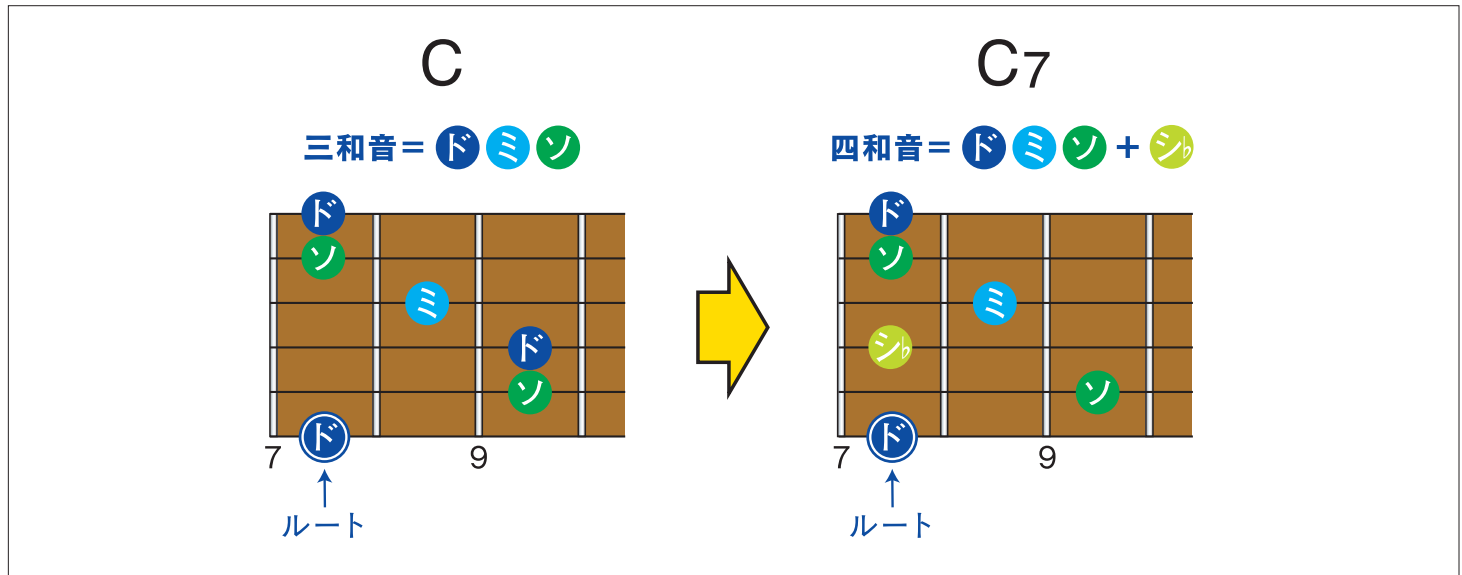
ブルースのバックングでは、おもに**“7th (セブンス) コード”**が使われます。

7thコードとは、＜ドミソ＞の三和音 (=メジャー・コード)に＜シ♭＞を加えた四和音のことです (Cコードの場合)。明るい響きのメジャー・コードに＜シ♭＞が入ることで、独特の哀愁感が出ます。これがブルースっぽ

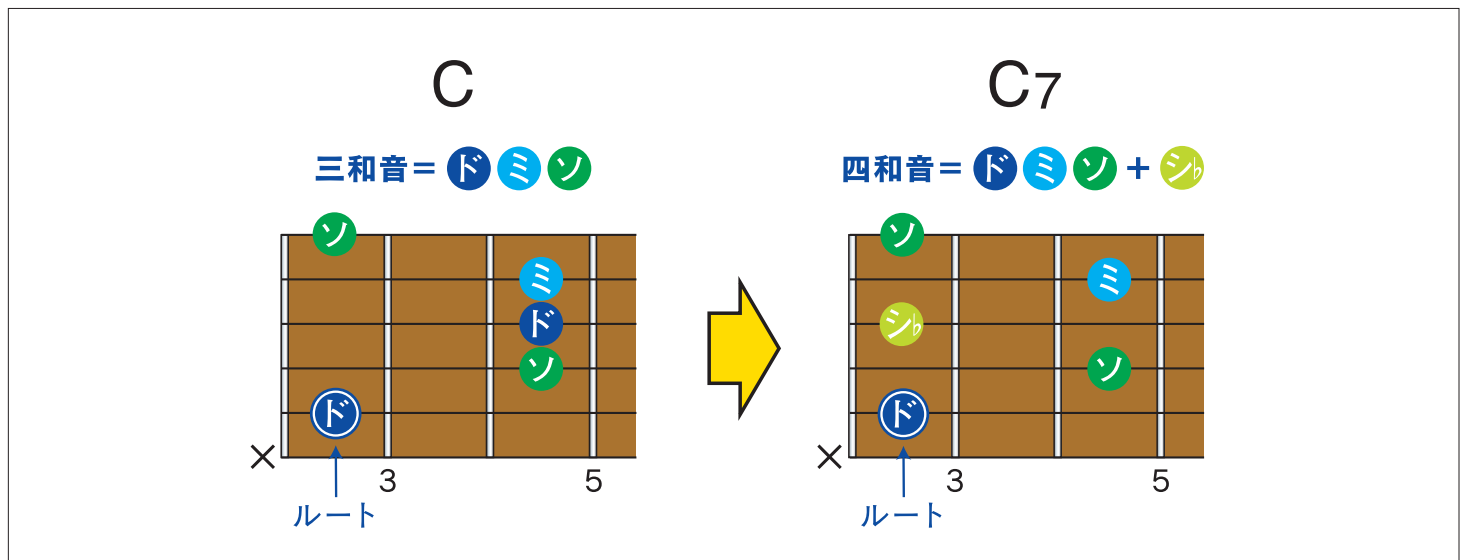
さを演出するカギのひとつとなるのです。

7thコードは**“6弦ルート”**と**“5弦ルート”**のセーハ・フォームさえ覚えておけば、あとはフレットの位置をズラすだけで、基本的なブルースのコードは弾くことができます。下のダイアグラムでチェックしておきましょう。

●6弦ルート・フォーム(Cコードでの例)



●5弦ルート・フォーム(Cコードでの例)



4 ブルースのリズム

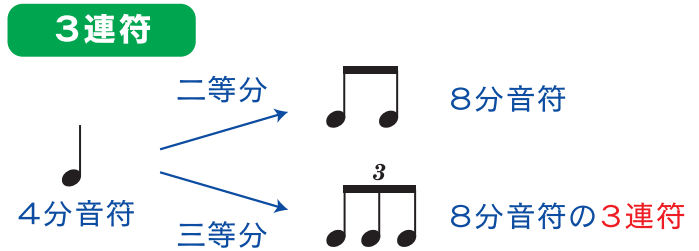
ブルースでは“シャッフル”や“ハチロク”と呼ばれる3連符をもとにしたリズムがよく使われます。

図と譜例で、それらのリズムの取り方、譜面の読み方を確認しましょう。

●3連符とは？

4分音符を二等分すると、8分音符になります。ブルースでは4分音符を二等分ではなく、三等分した“8分音符の3連符”をリズムの基礎にしています。

この3連符は、譜面上では8分音符3つ分のハタをつなげて、上に<3>と書いて表記します。

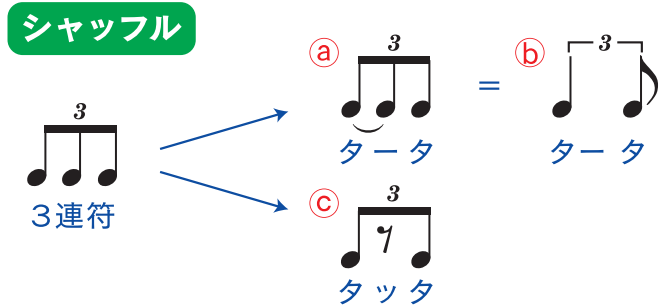


●シャッフルのリズム

“シャッフル”とは、3連符の真ん中の音符をタイ（または休符）で発音せずに、“ハネた感じ”を出すリズムのことです。

右の図の㉑と㉒は、表記の仕方が違うだけでまったく同じ“タータ・タータ〜”というノリになります。

㉓は真ん中が休符になっているので、“タッタ・タッタ〜”というノリになります。

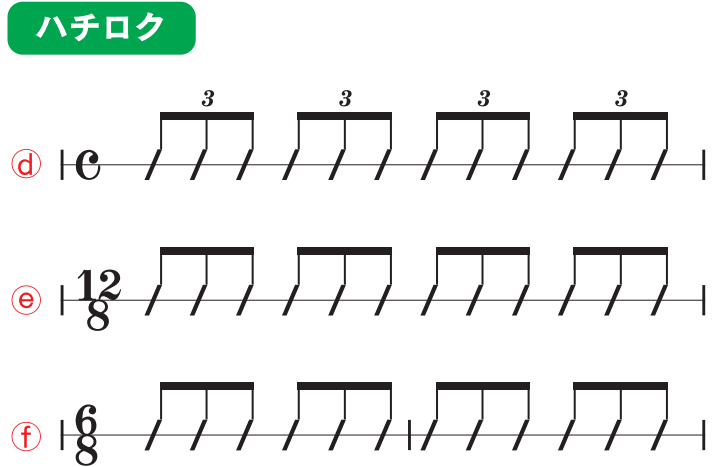


●ハチロクのリズム

㉑は、4/4拍子での3連符です。これを3連符を使わずに、普通の8分音符で表記したものが㉒です。1小節中に8分音符が12個になるので、<12/8拍子>になります。

さらに㉒を半分に区切って、㉓のように<6/8拍子>で書かれることがあります。これが俗に“ハチロク”と呼ばれるもので、おもにスローな曲で使われます。

なお、便宜上㉑や㉒をハチロクのリズムと呼ぶこともあります。



3連／シャッフルの練習



ピッキングはどちらでもOK

A7

5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 7 5 5 7 5

5 ブルース・バックイングのいろいろ

ブルース進行に合わせて、コード・バックイングを弾いてみましょう。
ここでは実践でも使える必須パターンをいくつか紹介します。
譜面上での表記の仕方にも着目してください。



セーハ・コードのストローク・バックイング

シャッフル記号

コード進行にバリエーションをつけた部分

セーハ・コードでシャッフルのストロークを練習しましょう。ダウン・ピッキングのみで弾く場合と、ダウン&アップのくり返しで弾く場合では、微妙にニュアンスが変わります。まずは両方のパターンで練習してください。

またこの譜例では、P.16～17での基本ブルース進行に少しだけバリエーションを加えて、2小節目にサブドミナント(D7)を入れています。このパターンもよくあるので、ぜひここで体感しておきましょう。

●シャッフル記号

譜面の先頭左上には、右にある記号が書かれています。これはシャッフルを指示する記号で、“譜面上では8分音符で書かれていても、シャッフルのリズムで弾く”という意味です。リズムの基本がシャッフルとなる曲では、譜面を見やすくするため、このように表記するのが一般的です。

マイナー・ペンタを広げよう

Part.4 で覚えたのはマイナー・ペンタの基本ポジションですが、それ以外のフレットも使ってみたいところですね。さらなるステップアップとして、もう少し使える音を増やしてみましょう！

1

マイナー・ペンタ+α



マイナー・ペンタの基本ポジションをもとにした、このポジション内で使えるマイナー・ペンタ以外の音を見ていきましょう。より使用頻度の高い音の順に紹介していきます！

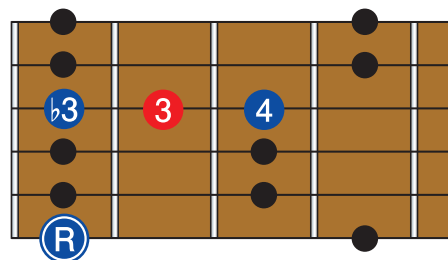
3弦中指のポジション 3rd

使用度 ☆☆☆

マイナー・ペンタ以外の音でまず覚えておきたいのが、3弦中指で押さえる3rdの音です(図①)。key=Aの場合には3弦6f(C#音)にあたりますが、単体で弾くと明るすぎてブルースにはあまり合いません。しかし半音下の<C>(3弦5f)の直後に一瞬鳴らすことで、暗すぎも明るすぎもない独特のブルージヤさを出すことができます。

クォーター・チョーキングを使わずにクォーター感が出せるので、チョーキングが不可能なピアノなどでも定番の手法となっています。

図①



ちょっと陽気なブルース・フィール

CD TRACK 36

譜例のように、3弦5f(人差指)を弾いたあと、中指で6fをハンマリングで鳴らすのが定番です(写真①②)。ロングトーンで伸ばしてしまうとブルースらしさがなくなる場合もあるので、経過音として使ったり、直後に別の音(マイナー・ペンタ内の音)に落ち着くようなフレーズ作りを心がけるといいでしょう。



▲3弦5fを人差指で押さえ(写真①)、中指で6fをハンマリングする定番のフィンガリング・パターン(写真②)。

2

ソロを弾くためのトレーニング

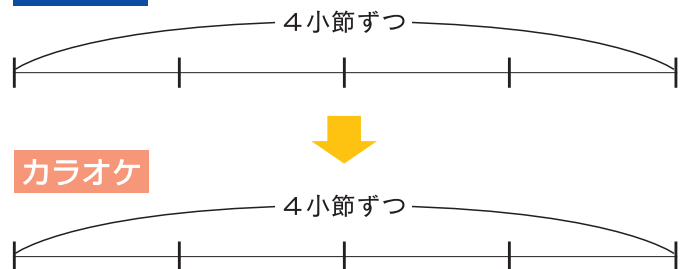
アドリブでは頭に浮かんだフレーズを、瞬時に両手に伝えなければなりません。ブルースでおもに使うペンタトニックを軸に、使う音のポジションをイメージできるようにするためのトレーニングをしていきたいと思います。

ソロ作りに向けて

“ソロを作る！”といっても、急に12小節分の長いフレーズを弾くのは難しいものです。そこで、ブルース進行の12小節を4小節ずつに分けて、短いフレーズ作りから練習していきましょう。

付属DVDでは、はじめに4小節の模範演奏が入っています。次にカラオケ（バックイング演奏）が4小節入っているので、模範演奏で使っているポジションの図を参考に、同じような音使いで独自のアドリブを弾いてみてください（右の進行表も参照）。馴れてきたら今度は譜面や図を見ないでプレイしてみましょう。

模範演奏



カラオケで、アドリブ・ソロに挑戦してみよう！

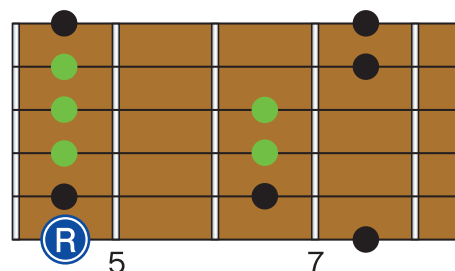
4小節ごとのAブルース(1~4小節目)



まずは1~4小節目でのフレーズを、マイナー・ペンタ内の5音(図①)に限定して弾いてみましょう。3弦7fのチョーキングと5fのクォーター・チョーキングをうまく使って表情を出してください。

はじめは模範演奏と音の順番を変えるだけでもいいですし、符割を変えるだけでもかまいません。とにかく丸々コピーするのではなく、自分なりのフレーズを弾くことが大切です。

図①



● = 使用ポジション

巻末付録

ギター・スコア

本書の最後は、ブルース界の名曲・名演を弾いておきましょう!

これまでに練習してきたテクニックやノウハウを使えば、

きっと弾きこなせるはずです。

もちろん、これらの曲に合わせて、自分のアドリブ・フレーズを研究してもOK。

また、名ギタリストのプレイをコピーする時は、

技術的な部分だけではなく、ブルースの演奏で最も大切となる“ブルース魂”も

ぜひ一緒に吸収していきましょう!

選曲: 田光マコト、編集部 採譜: 安東 滋 浄書: あいおん

「ハイダウェイ」..... 82

ジョン・メイオール&ザ・ブルース・ブレイカーズ・
ウィズ・エリック・クラプトン



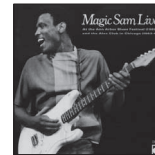
「クロスロード」..... 87

クリーム



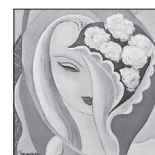
「スウィート・ホーム・シカゴ」..... 93

マジック・サム



「愛の経験」..... 99

デレク・アンド・ザ・ドミノス



DVD&CDでよくわかる!

はじめての ブルース・ギター



【監修】(執筆・演奏)
田光マコト(たこう まこと)

1968年生まれ、東京都出身。大学卒業後、アレンジャーのアシスタントをしながら音楽学校のエンジニア科に入学。のちにギター科に編入し、アイドル歌手のバック・ギタリストとしてプロ・デビュー。その後さまざまなアーティストのサポート、レコーディングなどに参加する。現在も自らリーダー/ボーカルを務めるザ・パーマネンツとして活動し、また1999年にはインディーズ・レーベル=YOUNG RECORDSを設立。プロデュース、CM音楽制作、音楽ライター、DJなどとしても多岐にわたって活躍中。著書/監修書に『アコギがうまくなる理由へたな理由』、『カタチではじめるブルース・ギター』、『DVD&CDでよくわかる! はじめてのソロ・ギター』などがある。

●ザ・パーマネンツ
<http://www.the-permanents.com>
●YOUNG RECORDS
<http://www.youngrecords.com>

2015年2月24日 第1版発行

発行所●株式会社 **リットーミュージック**
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
ホームページ <http://www.rittor-music.co.jp/>

【お客様窓口】
商品に関するお問い合わせ
リットーミュージックカスタマーセンター
TEL: 03-6837-5017 / FAX: 03-6837-5023

【書店・取次様窓口】
出版営業部
TEL: 03-6837-5013 / FAX: 03-6837-5024

【広告営業部】
TEL: 03-6837-4704 / FAX: 03-6837-4712

編集/発行人●古森 優
編集長●小早川実穂子
編集担当・撮影●岡見高秀
広告担当●森山賢志、仲本菜奈

表紙・本文デザイン・DTP●松本和美
譜面・図版浄書●株式会社あいおん
イラスト●新藤洋子

◎DVD制作
撮影・編集●maxilla
音声●大寺 宙
オーサリング●オーデン株式会社

印刷/製本/DVD & CDプレス●凸版印刷株式会社

◎機材協力
ギブソンジャパン
<http://www.gibson.com/jp-jp/home/>

◎表紙・DVDで使用したギター
Epiphone Sheraton II (VS)
[製品に対するお問い合わせ]
service.japan@gibson.com

Printed in JAPAN
© 2015 Rittor Music, Inc.
本書記事・図版などの無断転載、複製は固くお断りいたします。

ISBN978-4-8456-2575-8
セット価格: 本体2,200円
(書籍: 500円+DVD: 1,200円+CD: 500円)
※分売不可。消費税は別途いただきます。

JASRACの承認により
許諾証紙貼付免除

JASRAC 出 1500677-501
許諾番号の対象は、当該出版物中、当協会が
許諾することのできる著作物に限られます。



皆様へお願い

楽譜や歌詞・音楽書などの出版物を権利者に無断で複製(コピー)することは、著作権の侵害(私的利用など特別な場合を除く)にあたり、著作権法により罰せられます。また、出版物からの不法なコピーが行われますと、出版社は正常な出版活動が困難となり、ついには皆様方が必要とされるものも出版できなくなります。音楽出版社と日本音楽著作権協会(JASRAC)は、著作権者の権利を守り、なおいっそう優れた作品の出版普及に全力をあげて努力してまいります。どうか不法コピーの防止に、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

株式会社 リットーミュージック
一般社団法人 日本音楽著作権協会(JASRAC)

読者アンケートご協力をお願い

弊社ホームページに、本書に関するアンケートフォームを設置いたしました。今後の出版企画、サービス向上の参考にさせていただきます。ためにもぜひご協力ください。

<http://www.rittor-music.co.jp/>

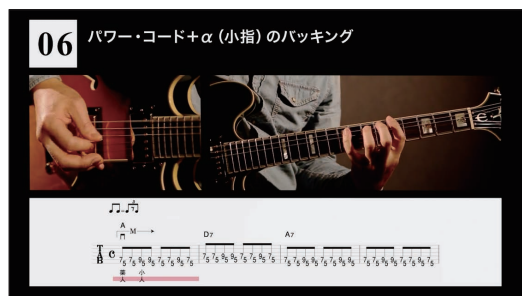
トップページからお求めの商品名で
検索いただき、商品紹介ページの
“読者アンケートに答える”ボタンから
進んでください。

▶新刊案内など、リットーミュージックの出版物の情報が満載



大きな写真と文字のフルカラー教則

本書は、大きな文字とカラー写真、実演DVD&CDでブルース・ギターに必要なノウハウがイチから学べる教則本です。図や写真をふんだんに使った視覚的にわかりやすい誌面に加え、DVDの映像と連動した譜面など、必修テクニックが着実にマスターできる内容になっています!



- Part.1** プレイを始める前に
- Part.2** ブルース・ギターを弾こう♪
- Part.3** ブルースを彩るテクニック
- Part.4** ペンタトニックでソロ・プレイ!
- Part.5** マイナー・ペンタを広げよう
- Part.6** 王道ブルース・フレーズ集
- Part.7** 曲調のバリエーション
- Part.8** ブルース・セッションに挑戦!
- Part.9** ブルース・ギター上級ノウハウ



ISBN978-4-8456-2575-8
C9473 ¥2200E

定価 本体2,200円 +税
雑誌69778-88